

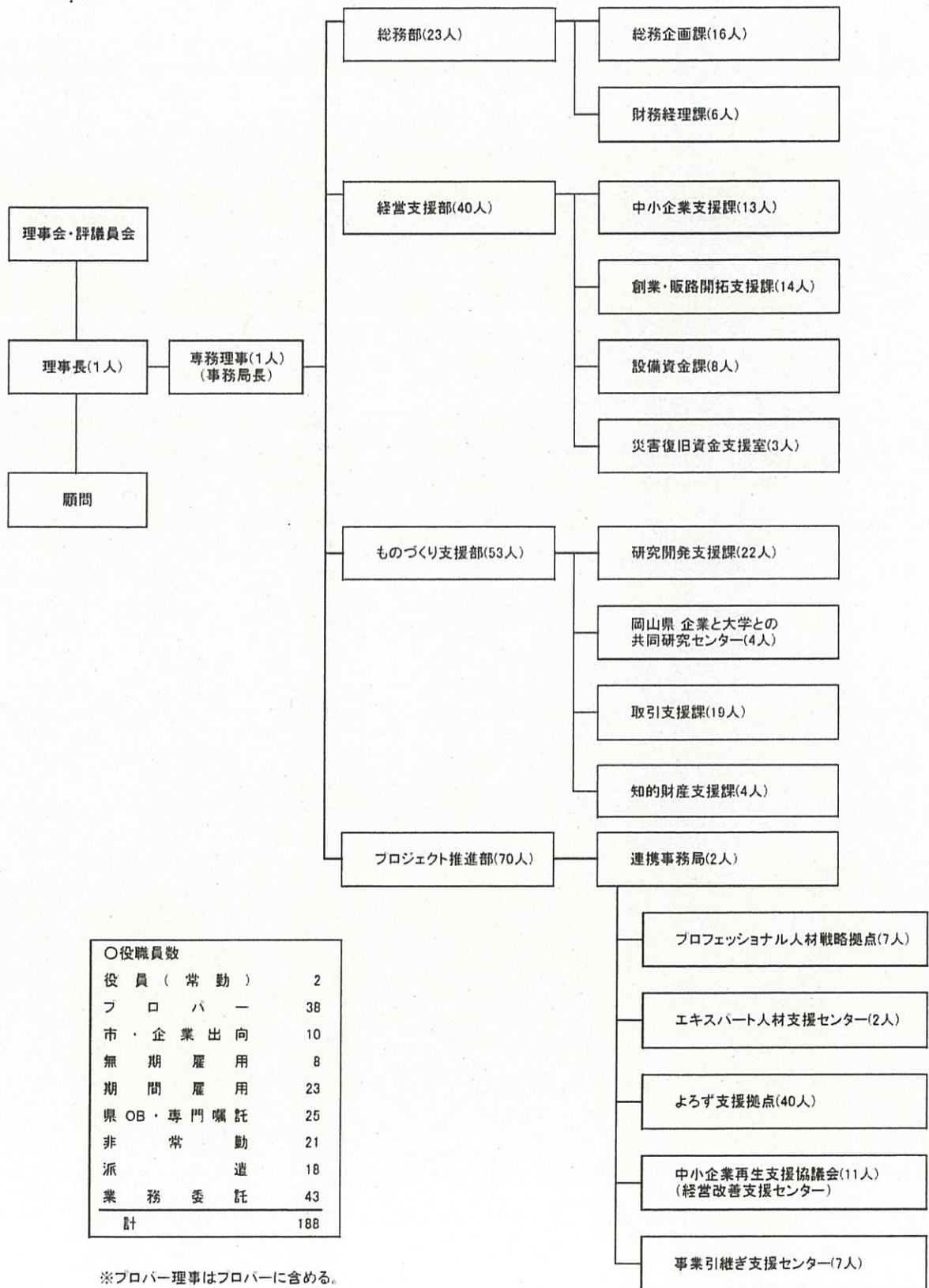
令和元年度

事業報告書

公益財団法人岡山県産業振興財団

I 組織図

(令和2年3月31日現在)



Ⅱ 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (令和元年 6 月 10 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告について 第 3 号議案 評議員選定委員会の委員選出について 第 4 号議案 令和元年度第 1 回評議員会の招集について (報告事項) ・ 理事及び監事の辞任及び選任について ・ 被災中小企業施設・設備整備支援事業（無利子貸付事業）の事業実施に係る影響について
第 2 回 (令和元年 6 月 25 日) ※書面決議	(審議事項) 第 1 号議案 理事長の選定について 第 2 号議案 常勤理事の報酬について
第 3 回 (令和 2 年 3 月 12 日)	(報告事項) ・ 評議員選定委員会の結果について ・ 理事の辞任及び選任について ・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について (審議事項) 第 1 号議案 令和元年度事業計画の変更について 第 2 号議案 令和元年度補正予算について 第 3 号議案 令和 2 年度事業計画について 第 4 号議案 令和 2 年度当初予算について 第 5 号議案 令和 2 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 令和元年度第 2 回評議員会の招集について

2 評議員会

開催日	審 議 事 項 ・ 報 告 事 項
第 1 回 (令和元年 6 月 25 日)	(審議事項) 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告について 第 3 号議案 役員の辞任及び選任について (報告事項) ・ 評議員選定委員会の委員選出について ・ 被災中小企業施設・設備整備支援事業（無利子貸付事業）の事業実施に係る影響について
第 2 回 (令和 2 年 3 月 23 日)	(審議事項) 第 1 号議案 令和元年度事業計画の変更について 第 2 号議案 令和元年度補正予算について 第 3 号議案 令和 2 年度事業計画について 第 4 号議案 令和 2 年度当初予算について 第 5 号議案 令和 2 年度借入金最高限度額について 第 6 号議案 知財総合支援窓口運営業務の実施及び財団職員の役務の提供について 第 7 号議案 役員の辞任及び選任について (その他) ・ 令和 2 年度執行体制について

3 監事監査

開催日	監 査 事 項
令和元年 6 月 6 日	平成 30 年度事業報告及び決算報告

4 評議員選定委員会

開催日	審 議 事 項
令和元年 8 月 21 日	(報告事項) 報告事項① 評議員の辞任について (審議事項) 第 1 号議案 評議員の選任について

Ⅲ. 総括

昨年5月、「平成」から「令和」へと改元され、祝賀ムードに包まれながら新たな時代が幕開けしましたが、本年に入ってから世界規模で新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中で都市封鎖等の対策が取られる中、我が国においても緊急事態宣言が発令され、工場の生産活動停止、外出自粛等、感染防止対策により経済は前代未聞の大打撃を受けています。

岡山県においても平成30年7月の豪雨災害で1,000を超える事業者が被災し、各行政機関や支援機関等が復旧・復興を目指す様々な支援活動に取り組んでいる最中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により感染予防・拡大防止を目的とした様々な活動の自粛をはじめ、流通の混乱、サプライチェーンの欠損、観光客の激減などにより、経営活動は難局に直面しており、倒産の危機に陥っている企業も見受けられます。企業の経営を取り巻く環境の変化には細心の注意を払い、経営状態の回復を目指してしっかりとした対策を講じる必要があると考えています。

当財団では、経営支援部門が、岡山県中小企業支援センター及び認定経営革新等支援機関の役割を担い、専門家の活用や他の支援機関と連携を図りつつ、県内中小企業や創業予定者等が抱える様々な経営課題の解決を支援しました。

加えて、平成30年7月に豪雨災害で被災した中小企業に対し、支援機関等の要請を元に個別企業の課題に適切に対応できる専門家を派遣し、早期の事業立て直しを支援するとともに災害復旧資金支援室を設置し、グループ補助金の交付決定を受けた事業者のうち希望する者に対し、無利子貸付を行い、被災事業者の事業復旧に努めました。

経営革新等にチャレンジする中小企業には、経営革新計画の策定支援を実施し、経営革新計画の承認に結びつけるとともに、承認後のフォローアップに係る支援を実施しました。

また、中小企業における円滑な事業承継に資するため、平成30年5月に設立した事業承継ネットワークの支援機関・金融機関等及び専門家と連携し、事業者支援に取り組みしました。さらに、後継者を対象に必要な知識習得及び人脈形成等を目的とした研修を実施しました。

そして、中小企業の働き方改革を支援するための専門家派遣によるモデル事例の策定及び働き方改革に取り組む企業担当者間の交流会を開催しました。

ベンチャー・創業支援においては、相談会やセミナー、創業に必要な知識・ノウハウを習得するための研修、金融機関や投資家とのマッチング、オーダーメイド型支援プログラムの実施及び創業者のネットワーク形成などを総合的に支援するとともに、岡山県女性創業サポートセンターにおいて女性に特化した創業支援を実施しました。

県内産品の販路開拓支援においては、県内外のバイヤーとの商談や展示の場の提供及び大規模展示会への出展を通じて、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化、販路開拓に努めました。また安全で高品質な県内農林水産物や加工食品の輸出促進に向けた支援を実施しました。

さらに就労継続支援A型事業所の経営改善を支援するため、専門家派遣及び研修会を実施するとともに、民間企業とのマッチング支援に取り組みました。

設備貸与事業においては、引き続き創業者、小規模企業者及び中小企業者等に対して円滑な設備導入のための支援を行うとともに、巡回訪問や専門家派遣による課題解決など、貸与後のフォローアップにも努めました。

ものづくり支援部門では、県内ものづくり企業の持続的な発展につながるよう、新技術・新製品のきっかけづくりから研究開発の推進まで、効果的かつ総合的な支援を行うため、県において、昨年10月1日に企業と大学の連携を包括的にコーディネートする「岡山県 企業と大学との共同研究センター」が岡山大学構内に設置され、その運営を受託しました。センターでは、専任コーディネーターや職員を配置し、企業ニーズと大学シーズの発掘や技術の通訳を担うことにより、大学の知を活用した企業の課題解決や、新産業・新事業の創出、中堅企業への成長に繋げる支援を実施しました。

製造業の下請取引支援では、「ものづくり県おかやま」を県内外へアピールするとともに県外の手先メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図るために「おかやまテクノロジー展（OTEX）2020」をコンベックス岡山で2日間開催しました。

また、個別企業ごとにマッチする取引先を紹介するとともに、発注企業のニーズに応えるため、大都市圏や個別での商談会、大手企業を対象とした展示商談会等の開催、国内外の展示会への出展支援を行い、効率的なマッチングの場を設けることで、多くの成約につながることができました。

さらに、主に大都市圏の発注案件を開拓するために関東地区、東海地区、関西地区、九州地区に広域専門調査員を配置し、受注機会の拡大に努めました。

ものづくり企業の販路開拓支援では、「岡山ビジネスサポーターズ」（首都圏在住の岡山にゆかりのある経営者等）を活用して、開発商品のブラッシュアップやブランド力強化に努めました。

プロジェクト推進部門では、「岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点」及び「岡山県エキスパート人材支援センター」が、都市部の大手企業等で豊富な経験を有する「プロフェッショナル人材」や高度な専門技術・技能を保有する「エキスパート人材」と、人材確保

に悩む県内中堅・中小企業とのマッチングを支援しました。

「岡山県よろず支援拠点」では、本部に加え、岡山市、倉敷市及び津山市に設置しているサテライトオフィスで夜間や休日でも相談者が利用できる環境の整備を進めるとともに、関係機関と連携して「出前よろず支援拠点」を充実するなど、相談対応により県内中小企業等の課題解決に努めました。

事業再生や経営改善に取り組む中小企業に対しては、「岡山県中小企業再生支援協議会」事務局として、これまで抜本的な再生事業を数多く生み出してきており、今年度も引き続き、関係機関と協議・連携を進めながら質の高い企業再生に取り組みました。また「岡山県経営改善支援センター」の活動を通じて、経営改善計画及び早期経営改善計画の策定支援やそのフォローアップも実施しました。

さらに、事業引継ぎに関しても、「岡山県事業引継ぎ支援センター」において、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を図りました。

総務部門では、産業人材の育成に関しては、専門人材やビジネスリーダー、後継者の育成などの研修を実施しました。

また、グローバル支援として、日本人学生の海外留学支援や国内外での実践活動の支援を通じ、地域を活性化するリーダー候補を育成しました。そして、アジア人留学生を企業のグローバル展開に資するビジネス人材へと育成するとともに、県内企業との就職マッチング等を支援することで企業の海外における事業展開を支援しました。

情報化支援に関しては、ITによる経営合理化、経営基盤強化を図るために、最新動向などを取り入れたセミナーや業務に役立てることができる研修会を開催しました。

また、県内支援機関と緊密な連携を図り、情報を共有しながら、有益な政策情報、セミナー情報、イベント情報等のタイムリーな発信に努めました。

当財団の役職員一人ひとりが、公益財団法人としての使命と責任を再認識した上で、「頑張る中小企業の応援団」として、他の支援機関をはじめ金融機関、研究機関、大学等とも連携を密にしながら、総力を挙げて支援に取り組んだところであります。

IV 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

中小企業支援法に基づく岡山県中小企業支援センター及び中小企業経営力強化支援法に基づく認定経営革新等支援機関として、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら窓口相談、創業、販路拡大、経営革新及び経営力向上に向けた取組を支援しました。

1 岡山県中小企業支援センターの運営

(1) 総合相談窓口の運営（県委託事業他）

- ① 中小企業が抱える経営・生産管理等に関する幅広い課題について、窓口、電話、訪問及び「しんきん合同ビジネス交流会」等の各種相談会において相談に対応しました。

・相談件数 1,251件（765社）

- ② 事業説明会の開催を通じて財団事業の周知を図りました。さらに個別相談会を開催し、中小企業の各種経営課題について相談対応を行いました。

・事業説明会・個別相談会の開催 1回（事業説明会：86人、個別相談：8件）

- ③ 中小企業支援センター事業等県制度だけでなく、中小企業庁が運営する総合支援ポータルサイト「ミラサポ」に掲載された専門家派遣システムも活用しつつ、中小企業診断士等の専門家と連携して中小企業が抱える経営課題の解決を支援しました。

・専門家の派遣 188社（599回）

<内訳>

岡山県中小企業支援センター専門家派遣制度「成長・経営改善等支援事業」	11社（31回）
岡山県中小企業支援センター「中小企業BCP策定支援事業」	9社（31回）
岡山県中小企業支援センター「被災中小企業への個別専門家派遣事業」	10先（74回）
民間委託「プッシュ型事業承継支援高度化事業」	33者（56回）
県委託「事業承継による成長支援事業」	47者（74回）
県委託「働き方改革推進体制構築モデル事業」	20社（114回）
県委託「経営革新推進事業」	11社（54回）
「ミラサポ」専門家派遣システム	7社（13回）
県委託「起業家人材育成支援事業」	27者（72回）

美作県民局委託「美作地域創業支援フォローアップ事業」	8 者（24 回）
県委託「就労継続支援 A 型事業所の経営改善支援」	6 事業所（24 回）
備中県民局委託「備中流！産業による地域おこし支援事業」	3 社（11 回）
自主事業「設備貸与推進事業」	6 社（21 回）

- ④ 中小企業向けに BCP（事業継続計画）及び情報リスク管理の専門家を講師とするセミナーを開催し、普及啓発に取り組みました。また BCP 策定に意欲を有する中小企業を対象に専門家派遣を行い、県内中小企業の BCP 策定を支援しました。

・ BCP 普及啓発セミナー	2 回（101 人）
・ BCP 策定実践講座	2 回（30 人）
・ 専門家による BCP 策定支援	9 社（31 回）※再掲

（2）被災中小企業者への専門アドバイザー派遣（県委託事業）

平成 30 年 7 月豪雨災害で被災した中小企業に対し、支援機関等の要請を元に、個別企業の課題に適切に対応できる専門家を派遣することにより、早期の事業立て直しを支援しました。

・ 被災中小企業への個別専門家派遣事業	10 先（74 回）※再掲
---------------------	---------------

（3）事業承継の支援（民間委託事業、県委託事業）

平成 30 年 5 月に公的支援機関、金融機関、士業団体及び行政機関等との連携のもと構築した「岡山県事業承継ネットワーク」を基盤として、情報提供や意見交換等を行うとともに、商工団体（商工会議所、商工会、中小企業団体中央会及び当財団）及び一部金融機関により事業承継診断を実施しました。また、診断によって見出された事業承継に関する課題について、支援機関、事業承継コーディネーター、ブロックコーディネーター及び専門家が連携して課題解決を支援しました。さらに、県事業により個者支援を切れ目なく実施するとともに、企業価値の向上支援に資する磨き上げを支援しました。

（ア）プッシュ型事業承継支援高度化事業（民間委託事業）

・ 岡山県事業承継ネットワーク全体会議	2 回（91 機関）
・ 事業承継診断	4,113 件
・ コーディネーター派遣	219 件
・ 専門家派遣	33 者（56 回）※再掲

(イ) 事業承継による成長支援事業（県委託事業）

- ・ 専門家派遣 47 者（74 回）※再掲

(4) 後継者の育成（自主事業）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識醸成を促す「後継者育成塾（第 14 期）」を開催し、塾生 16 人に対して研修を行うとともに塾生間のネットワーク形成を支援しました。

また、修了生で構成する「吉備継成会（184 名）」の活動を支援しました。

- ・ 後継者育成塾の開催 1 コース（20 回）
- ・ 吉備継成会定例会等の開催 7 回

(5) 働き方改革の推進（県委託事業）

働き方改革を推進するため、専門家を派遣して課題解決を支援するとともに、先進的取組企業との交流会等を実施しました。

- ・ 専門家派遣 20 社（114 回）※再掲
- ・ 先進的取組企業との交流会 4 回

2 経営革新の支援

(1) 経営革新計画の承認支援（県委託事業）

中小企業者等の作成した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行いました。

また、経営革新に関心のある中小企業等を対象に経営革新セミナーを開催し制度利用の一層の促進を図るとともに、革新計画終了企業のうち成果が顕著であり他の模範となる企業を表彰するなど、総合的な支援を実施しました。

- ・ 審査及び指導助言 115 件
- ・ 経営革新セミナーの開催 1 回（84 人）
- ・ 経営革新企業表彰の実施 1 回（グランプリ 1 社、優秀賞 2 社）

(2) 経営革新企業の「稼ぐ力」向上支援（県委託事業）

経営革新計画の策定段階において実践的なマーケティング戦略講座を実施し、マー

ケティング人材の育成を図るとともに、経営革新計画の承認を得て取り組む事業に対し、技術力等を評価し、信用力の向上を支援しました。

- ・マーケティング戦略講座（2日間） 1コース（第1回30人、第2回27人）
- ・技術力等評価 6社

3 創業の支援

（1）創業後のフォローアップ支援（民間委託）

国の創業補助金を活用し新たな起業・創業や第二創業を行った者に対して事業化及び収益状況等を調査し、必要なフォローアップを行いました。

- ・事業化等状況報告書及び決算書の徴求、報告内容確認及び補助金支給後報告書による、（独）中小企業基盤整備機構への報告
- ・創業者等において納付すべき収益が発生した際の補助金返納手続
- ・事業廃止承認申請書、登録変更届の受理、記録

（2）女性創業者の育成支援（県委託事業）

男女共同参画推進センター（ウィズセンター）内に設置されている女性創業サポートセンターにおいて、創業前後の女性を対象に相談員が様々な課題解決を支援しました。また創業に際して必要な知識やノウハウの習得を目的に、女性創業支援研修を開催するとともに、県内の女性起業家との情報・意見交換の場を設け、女性の創業を総合的に支援しました。

- ・相談件数 301件
- ・女性創業支援研修（創業塾）の開催 2回（初級：21人、上級：22人）
- ・女性創業セミナー・交流会の開催 2回（70人、37人）

（3）起業家人材の育成支援（県委託事業）

起業予定者を対象に研修を企画・実施し、ビジネスに関する基礎知識及び実践的なノウハウの習得を促すほか、フォローアップのための創業セミナー及び個別相談会を開催しました。

また、創業後の不安定な時期の創業者にそれぞれの課題に応じた専門家を派遣し、課題解決を支援しました。

- ・起業家育成研修（10日間） 1回（15人）

- ・創業&フォローアップセミナー 1回 (参加者 72 人、個別相談 14 人)
- ・専門家の派遣 27 者 (72 回) ※再掲

(4) ベンチャー企業の育成支援 (県委託事業)

成長が期待されるベンチャー企業を対象にハンズオン支援を行いました。また新規性を有する技術や製品等を有するベンチャー企業等の掘り起こしに取り組むとともに、県内外のベンチャーキャピタルや金融機関に向けたビジネスプランの発表と個別面談の場を提供し、事業の発展を支援しました。

- ・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会

2回 (第1回 5 社、第2回 12 社)

(5) ベンチャー企業等の支援強化 (県委託事業)

情報管理の徹底が必要な新たな技術やビジネスアイデアを有し、将来的に地域産業の一翼を担うことが期待されるベンチャー企業等の発掘・育成を進めるために、オーダーメイド型支援プログラムを策定し伴走支援を行いました。

また起業家等の気づき・発想力の育成や経営力の向上を目的に、創業支援プログラムが行き届いていない地域でもセミナー・ワークショップを開催し、起業家の発掘及びネットワーク形成を支援しました。

- ・オーダーメイド型支援プログラムの実施 (事業名：スター☆ベンチャー誕生)

応募 31 件 (内、県外 4 件)

採択 6 件 (内、県外 1 件)

- ・セミナー・ワークショップの開催 4 回 (延べ 125 人)

(6) 美作地域創業支援フォローアップ事業 (美作県民局委託事業)

過去7回の美作地域コミュニティビジネスプランコンテスト1次審査通過者をはじめとする、美作地域でのコミュニティビジネスの既創業者や創業予定者が抱える課題を解決するために、ワークショップの開催や専門家派遣を行いました。

- ・ワークショップの開催 1 回 (18 人)

- ・専門家の派遣 8 者 (24 回) ※再掲

4 販路開拓・拡大支援

(1) 新商品の販路開拓支援（県委託事業）

優れた新商品・サービス等を有するにもかかわらず、メーカーや小売店等との接点がなく、販路開拓ができていない中小企業等を支援するため、県内外で県産品の販路開拓支援を行いました。

- ・ブラッシュアップセミナー 1回 (27社・団体)
- ・フォローアップ商談会 1回

セラー14社、バイヤー16社（商談件数58件、商談成立2件）

- ・FOODEX JAPAN 2020（第45回国際食品・飲料展）への出展支援

※新型コロナウイルス感染症の影響のため開催中止

(2) 「食」と「アグリ」に関する商品の販路開拓支援（民間委託事業）

「食」と「アグリ」をテーマに、県内中小企業等の持つ優れた新商品・オリジナル商品を展示するとともにバイヤーとの個別商談を行う展示商談会を開催し、新たな販路開拓を支援しました。

- ・集合プレゼンテーション研修 1回 (52社・団体)
- ・トマトアグリフードフェアの開催 1回 (1,442人)

展示商談会 出展62社・団体（63ブース、うち38ブースで商品販売）

商談成立39件

個別商談会 セラー92社、バイヤー51社（商談件数380件、商談成立66件）

(3) 備前おかやま食の販路開拓チャレンジ応援事業（備前県民局委託事業）

首都圏での販路開拓を目指す岡山県備前県民局管内ものづくり企業等を対象に、バイヤー・デザイナー等専門家の助言等を受けつつ、各社のコンセプトが伝わるような新商品の開発を支援しました。また、完成した商品については首都圏の店舗等でテスト販売を行い、得られた情報をフィードバックすることで、売れる商品づくりを支援しました。

- ・首都圏でのテスト販売 1回
- ・専門家による現地視察・商品開発協議 1回
- ・最終商品開発協議 1回
- ・実績報告会 1回

(4) 関西圏大規模見本市への出展支援事業（備中県民局委託事業）

備中地域の地域資源等を活用して開発した加工品、製造品の売れ筋商品化や販路拡大を図るため、関西圏の小売業、商社・卸・問屋などのバイヤー・購買担当者等を対象に開催される大規模見本市への出展を支援しました。

- ・フードストアソリューションズフェア 2019 への出展支援

1 回 (9 社)

商談件数 2,216 件

商談成立 15 件

(5) 備中流！産業による地域おこし支援事業（備中県民局委託事業）

備中地域の地域資源を活用した産業による地域おこしの取組を通じて、地域資源の認知度を高め地域経済の活性化につなげるとともに、経済活動の自立による人材の定着を図るため、専門家を派遣し、課題解決に必要な助言を行いました。

- ・専門家派遣

11 回 (3 団体・事業所)

(6) 首都圏大規模見本市への出展支援事業（備中県民局委託事業）

備中地域の地域資源等を活用して開発した加工品・製造品の売れ筋商品化や国内外への販路拡大を図るため、首都圏大規模見本市への出展を支援しました。

- ・FOODEX JAPAN 2020（第45回国際食品・飲料展）への出展支援

※新型コロナウイルス感染症の影響のため開催中止

(7) 美作県民局管内大型見本市出展支援事業（美作県民局委託事業）

美作地域の地域資源等を活用して開発した加工品・製造品の売れ筋商品化や販路拡大を図るため、首都圏大規模見本市への出展を支援しました。

- ・個別ブラッシュアップセミナー等開催

個別ブラッシュアップ研修 2 日 (4 社)

研修後フォローアップの開催 2 日 (4 社)

- ・FOODEX JAPAN 2020（第45回国際食品・飲料展）への出展支援

※新型コロナウイルス感染症の影響のため開催中止

(8) 岡山発！晴れの国地域産品販路開拓支援事業（自主財源及び民間助成金）

岡山県内産品の新商品開発や改良、それらの国内・海外に向けての新規販路開拓を

目的に商談会を開催しました。また、首都圏からバイヤーを招聘し、「バイヤーズミーティング（求評会）」を開催し、バイヤーからの商品開発及び改良等のアドバイスを踏まえた商品のブラッシュアップを支援しました。

- ・フードマッチングフェアの開催 1 回
セラー52 社、バイヤー37 社（商談件数 242 件、商談成立 13 件）
- ・バイヤーズミーティングの開催 1 回
参加企業 11 社、参加バイヤー3 社

（9）東京サポートデスクの設置（自主事業）

岡山県東京事務所内に県内中小企業等のためのサポートデスクを設置し、プロモーターが首都圏での販路開拓、ビジネスマッチングを支援しました。

- ・県内中小企業の首都圏での販路開拓支援
- ・首都圏バイヤー訪問等情報収集

（10）台湾・香港での「農林水産物食品」輸出促進事業（県委託事業）

新たな販路として海外市場への展開を目指す県内農業団体や中小企業等が有する農林水産物及びその加工品の販路開拓を支援するため、台湾の高級スーパーでのテストマーケティングを支援しました。

- ・台湾「岡山フェア」開催 1 回 （微風廣場等 3 店舗）
出展 14 社 （68 商品）

（11）就労継続支援 A 型事業所の経営改善支援（県委託事業）

就労継続支援 A 型事業所と民間企業の業務請負を促進するための個別マッチングや商談会、A 型事業所の事業内容等を紹介したガイドブックの作成、経営課題の解決等に向けた専門家派遣及び課題別の研修会等の支援を実施しました。

- ・ A 型事業所と民間企業との個別マッチング

登録件数	A 型事業所	10 件
	民間企業	4 件
個別マッチング		3 件 （成約 1 件）
- ・ A 型事業所ガイドブックの作成 32 事業所
- ・ 地域別商談会の開催 2 回

参加者	A 型事業所	30 事業所
-----	--------	--------

	民間企業	14 社
商談件数		82 件
・課題別研修会		2 コース (延べ 16 事業所)
・専門家派遣		24 回 (6 事業所) ※再掲

5 設備導入支援

設備貸与（自主事業、割賦損料補助は県補助事業）

創業者、小規模企業者及び中小企業者等が希望する設備を財団が購入し、経営状況に応じた料率（年 1.47%～2.65%）で割賦販売又はリースすることにより設備導入を支援しました。

また、経営革新承認等一定の条件を満たす企業が設備投資をする場合、「経営革新等設備投資促進枠」として 5 年間の特別料率（年 0.74%～1.33%）と、「割賦損料助成金枠」として 5 年間の支払済み損料の半分の助成することにより貸与を実施しました。

(ア) 割賦販売	499,846 千円
・経営革新等設備投資促進枠	152,636 千円
・割賦損料助成金枠	200,000 千円
・基準枠	147,210 千円
(イ) リース	31,077 千円
・経営革新等設備投資促進枠	23,598 千円
・基準枠	7,479 千円
(ウ) 割賦販売及びリース合計	530,923 千円
・経営革新等設備投資促進枠	176,234 千円
・割賦損料助成金枠	200,000 千円
・基準枠	154,689 千円

6 中小企業高度化事業に係る診断・助言（県委託事業）

中小企業高度化事業を利用し、貸付金を償還中の協同組合等に対して診断・助言等を行いました。

・診断、助言	10 件
・フォローアップ	3 件

7 高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理（県委託事業）

岡山県中小企業高度化資金及び岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データ

及び電算システムの保守に関する事務並びにこれら債権に附帯する事務を行いました。

8 競争力強化対策事業（県委託事業）

岡山県制度融資を利用して IT、IoT 技術による生産性向上に取り組み、付加価値額の増加が見込まれる計画を策定した企業に対し、当初 1 年間の利子及び信用保証料を補助する『岡山県生産性向上ゼロ金利補助金』の推薦業務、並びに設備貸与制度利用企業の内、「先端設備等導入計画」に基づき労働生産性の向上を図る設備を導入する企業に対し、1 年間の割賦損料相当額を補助する『岡山県生産性向上等支援割賦損料補助金』の確認業務を行いました。

また、平成 29 年度、平成 30 年度に経営革新資金（県融資制度）の推薦を行った企業に対して、フォローアップ業務を行いました。

・生産性向上ゼロ金利補助金の推薦	1 件
・生産性向上等支援割賦損料補助金の確認	3 件
・経営革新資金に係るフォローアップ	2 件

9 設備貸与推進事業（自主事業）

設備貸与利用企業に対し、業績回復のきっかけを作る目的で経営改善支援のための専門家派遣を行い、経営改善計画の策定や生産活動・営業活動の改善等の支援を実施しました。

・専門家派遣	6 件
--------	-----

10 グループ補助金無利子貸付事業

平成 30 年 7 月豪雨で被災された中小企業等が施設・設備の整備の復旧を行う場合に、グループ補助金の交付を受けた後、自己負担分への無利子貸付を行う事業を平成 30 年 10 月から実施している。

令和元年度の実績と平成 30 年 10 月からの延べ件数は以下のとおりです。

相談件数 76 件（平成 30 年 10 月から延べ 103 件）

申込件数 16 件（平成 30 年 10 月から延べ 18 件）

審査件数 14 件（平成 30 年 10 月から延べ 16 件）

決定件数 15 件 1,002,677 千円（平成 30 年 10 月から延べ 16 件、1,011,410 千円）

貸付実行 8 件 841,406 千円（平成 30 年 10 月から延べ 8 件、841,406 千円）

V コーディネート機能を発揮し新産業を創出（ものづくり支援部事業）

県内中小企業が、市場ニーズに応じた製品やサービスをより迅速に開発しタイムリーに市場に投入することができるよう、企業や大学などが有する開発ニーズや技術シーズのマッチングによる研究開発から販路拡大までの総合的支援を推進しました。

特に自動車、IoT セキュリティー、次世代電池等今後成長が期待される分野において、環境変化に対応する提案力と競争力を持つ企業への成長を促しました。

また、全国大手メーカーに対して県内受注企業の優れた加工技術等を広く PR し、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図りました。好評を博した「おかやまテクノロジー展（OTEX）」を引続き開催しました。

1 産学官連携の推進

（1）大学と連携した地域産業振興事業（新規：県委託事業）

大学の知の活用により中小企業を中堅企業へと押し上げていくため、企業、大学と県が組織的に連携して産業振興に取り組む新たな枠組みである「岡山県 企業と大学との共同研究センター」にセンター長、専任コーディネーター、職員を配置し、包括的なコーディネート業務と管理運営に努めました。

- ・相談件数 860 件（内マッチング件数 26 件）
- ・企業と大学の縁結び事業（ミニシーズ発信会） 2 回
- ・コーディネーター情報交換会の開催 5 回

（2）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用に努めました。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援
（シンポジウム 6 回、講演会等 8 回、視察 3 回、研究室訪問 1 回）

（3）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10 グループ・202 人）の活動をコーディネートし、会員相互の交流の促進や新事業創出の促進を図る。また、'82 岡山県技術交流プラザ、'84 岡山県技術交流プラザ、'91 岡山県技術・市場交流プラザの活動支援を行いました。

- ・特別セミナーの開催 1 回
- ・「プラザのつどい」の開催 1 回

2 研究開発の支援

(1) きらめき岡山創成ファンド（県補助事業）

新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内企業の成長を支援しました。
また、自動車関連サプライヤーの既存技術のEV対応のための研究開発を支援しました。

・一般型	新規 3 件、交付決定額 43,350 千円
・小規模型	新規 1 件、交付決定額 550 千円
・一般型（EV 対応）	新規 2 件、交付決定額 26,100 千円

(2) 戦略的基盤技術高度化支援事業（国補助事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、鋳造、鍛造、切削、めっき等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進しました。

・実施テーマ 7 件（新規 2 件、継続 5 件、補助額 187,486 千円）

- ①大幅な CO2 低減を実現する世界初バイオマス由来の蓄熱材開発
- ②自動車用板金プレス部品のノンパラメトリック形状最適化とトポロジー最適化を組合せた軽量化技術の研究開発
- ③フレキシブルエレクトロニクスの量産化に向けた耐久試験装置の高度化
- ④3 次元 LSI の高効率生産を実現する SiC 半導体製造装置部品の革新的工法開発
- ⑤自動車部品適用のための高強度化・高熱伝導マグネシウム合金の開発
- ⑥次世代電池の開発加速を実現する充放電時の内部電位可視化装置（テラヘルツ波ケミカル顕微鏡）開発
- ⑦国産針葉樹（スギ・ヒノキ）の高付加価値化に資する革新的フラン樹脂化技術の開発

(3) 次世代産業育成事業（県委託事業）

今後市場の拡大が見込まれる新エネルギー関連分野・次世代エレクトロニクス関連分野・人工知能、IoT などいわゆる第 4 次産業革命関連分野等の次世代産業分野への県内企業の参入促進を図るため、企業の技術力や応用可能性、また、大学等の研究者の技術シーズの把握等、産学連携を進める際の要となる産学連携コーディネーターを設置し、「おかやま次世代産業関連技術研究会」を通じて、県内企業に対し、次世代産業分野における最新の技術・市場動向に係る情報発信等を行い、次世代産業分野への県内企業の参入意欲の醸成や、大手企業等を含む産学官による多様な構成員同士の交流により、当該分野に係る新技術・新製品の開発や事業化に向けた取組を促進した。

・企業・大学・公設試等への訪問による情報収集及び発信	99 社・機関
・企業と大学、公設試等とのマッチング	19 件
・おかやま次世代産業関連技術研究会の開催	4 回

また、製品・技術開発を加速化するためには、自社内だけのリソースだけでは対応困難であり、社外の技術を活用するオープンイノベーションの活用が効果的であることから、オープンイノベーション推進コーディネーターを配置し、“パワー半導体”、“フレキシブルデバイス”、“次世代電池”などの分野別に県内中小企業のグループによる研究会を組織し、専門家等の助言を基に参加企業等の連携等による新たな製品・技術提案を川下企業である大企業に行う事業を実施しました。

- ・「次世代産業研究開発プロジェクト創世事業費補助金」推進企業支援 12社
- ・県内企業の研究開発推進に向けた補助金等各種制度の活用支援 21件
- ・企業・大学・公設試等への訪問による情報収集及び発信 113社・機関
- ・企業と大学、公設試等とのマッチング 8件
- ・シーズ発信会の開催及びマッチング 中止（新型コロナウイルス関連）
- ・分野別異業種研究会の開催及びマッチング 6回24件
（パワー半導体、IoT&AI、次世代電池、フレキシブルエレクトロニクス）

（４）研究開発促進事業（県委託事業）

コーディネーターを設置し、イノベーションに挑戦しようとする企業のニーズを捉え、研究開発から販路開拓の各段階で適切なアドバイスや専門家の派遣、産学官や企業間の連携調整を行い、研究開発の促進体制を強化しました。また、国、県等の競争的資金の説明会を開催し、広く周知するとともに、申請前から採択に至るまで伴走支援し、県内企業のイノベーションを売上げに結実するまで支援しました。

- ・ニーズ把握（93件）、相談（95件）、産学官マッチング（36件） 224件
- ・きらめき創成ファンド採択企業における事業進捗ヒアリングとフォロー 51件
- ・支援制度、技術動向収集と企業への提供 30回
- ・競争的資金の獲得支援 4社
- ・研究開発等の企業支援制度説明会の開催 2回

（岡山会場 116人、津山会場 41人）

（５）難削材加工クラスター形成事業（県委託事業）

これまでの難削材加工技術スキルアップ研修を通じて蓄積した加工技術に関するデータを活用し、チタン合金などの難削材加工や薄板の精密加工など、付加価値の高い業務の受注に向けた実践的な加工研修を実施しました。また、工業技術センター等との連携による講習会や切削加工セミナー等を実施し、県内企業の加工技術の高度化に取り組む企業の拡大を支援しました。

- ・切削加工技術スキルアップ研修の開催 2日間
- ・切削加工技術セミナーの開催 2回
- ・「加工見える化」講習会の開催 14社

(6) 医療機器開発プロモート事業（県委託事業）

医療機器分野におけるものづくり企業の競争力向上、技術力や知名度を向上させるための大規模な展示会への出展支援等により、医療機器メーカーとのマッチングを促進し、さらなる取引拡大、新たな開発案件への参入を図りました。

- ・医療機器県外製造販売企業との面談会 1回
- ・関東経済産業局 医療機器ものづくり商談会 1回
- ・介護福祉用具の実現に向けた商品化支援委員会の開催
中止（新型コロナウイルス関連）
- ・医療機器、福祉機器商談件数 42件
- ・MEDTECjapan2020出展支援 中止（新型コロナウイルス関連）

(7) 技術振興事業（基金事業）

ものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進するために、研究開発や経営革新等、業種転換を進める中小企業の総合的な支援を行うことにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図りました。

- ・若手研究者の研究の助成 3件、助成額1,200千円

(8) 自動車産業育成事業（県委託事業）

三菱自動車工業(株)と日産自動車(株)との資本業務提携や、EV普及の急激な進展、自動運転技術を始めとする次世代自動車技術の研究開発など、本県の基幹産業である自動車産業を取り巻く環境が変化している中、県内企業の新技術や新製品の研究開発やこれらの提案力の向上、受注増に向けた取引先の多様化を支援し、グローバルに通用する提案力と競争力を持つ企業への成長を促しました。

①自動車産業育成支援

- ・次世代自動車技術に関するセミナー 2回
- ・各種分科会による共同研究等の推進 10回
- ・マーケティング力向上研修会 3回
- ・人とくるまのテクノロジー展2019出展支援 6社
- ・オートモーティブワールド2020出展支援 5社
- ・岡山県自動車関連企業ネットワーク会議の運営支援 80社

②自動車開発技術ハンズオン支援

- ・現場改善リーダー育成 座学研修 4社
- ・現場改善リーダー育成 実践活動 4社
- ・成果報告会 中止（新型コロナウイルス関連）

③自動車関連企業工場管理人材等育成事業

- ・自動車関連企業工場管理人材等育成研修 5回
- ・自動車工学基礎研修 5回

④EV-PHV技術展出展支援事業

- ・ EVEX2019出展支援 6社
 - ⑤EV関連技術対応促進事業
 - ・ EV関連セミナーの開催 2回
 - ・ EV関連企業視察 2回
 - ・ EVの構造研究活動 1回
- (走行チェック、車両貸出、車両分解、分解部品展示説明会、報告会)

(9) 次世代自動車サプライヤー応援隊事業(国補助事業・県補助事業)

県内サプライヤーのビジネス環境変化への対応を支援するため、技術開発や人材育成等の専門知識を有するコーディネーターを育成して派遣し、県内サプライヤーの次世代技術の開発促進や、企業間連携の促進を促した。

- ・ OEM(三菱自動車工業、日産自動車)との意見交換会 2回

(10) ものづくり産業への工業デザイン導入支援事業(県委託事業)

様々な情報が多様なルートで提供され、製品の外観や機能が顧客への訴求力を強めている中、自社製品に工業デザインを活用する県内ものづくり企業は少ないことから、その導入を支援することにより、県内ものづくり企業の製品の高付加価値化や差別化、ブランド力の向上を促進しました。

- ・ ものづくり・デザイン活用セミナーの開催 1回
- ・ 東京インターナショナル・ギフトショー春2020出展支援 4社

(11) 中堅企業成長支援モデル事業(県委託事業)

地域経済を牽引する中堅企業を育成するため、独自技術など潜在成長力を有する県内中小製造業者を対象に、マーケティング力の強化を中心とした支援チームにより、自社製品の開発や域外取引の拡大など企業の「稼ぐ力」の向上を図る新たなモデル事業を実施しました。

- ・ 支援企業の課題に応じた事業戦略、製品開発、販売促進方法等の助言 4社
- ・ 継続的フォローアップ 8社
- ・ 公募説明会、支援企業事例紹介 1回

3 産業クラスター計画の推進

(1) 循環型産業クラスター計画の推進(県委託事業)

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット(B-net)を設置し、産学官の連携により、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーの開催などの活動に取り組みました。

また、プロジェクト会議を開催し、循環型産業の振興に向けて、専門家等の指導や助言、関係企業による先進的事例の考察、3R推進員等との意見交換など様々な方法で、

県内企業等による新規プロジェクトの創出に繋がる活動・研究を行いました。

- ・環境サポーター・環境産業推進員による企業訪問、マッチング 181 社 67 件
- ・中四国環境ビジネスネット委員会 1 回
- ・B-net フォーラムの開催 1 回
- ・プロジェクト会議の開催 2 回（うち 1 回中止（新型コロナウイルス関連））
- ・エコプロ 2019 出展支援 11 社・機関

(2) バイオプラスチッククラスター活動の推進（県委託事業）

従来から情報発信を行っているプラスチック等製品関連企業のみでなく、地場産品（繊維や耐火物）等を対象とした CNF 実用化セミナーを開催し、川下側の裾野を広げました。

- ・CNF 実用化セミナーの開催 1 回

(3) 福祉用具開発クラスター活動の推進（自主事業）

福祉用具等の開発・改良・商品化・販路開拓等に向け、製品や技術の PR・研修・情報交換の場を設けるなどの活動を通じて、利用者が真に必要としている福祉用具の開発・普及を促進するとともに、新規参入を促しながら福祉関連産業の振興を図ることを目的に、ハートフルビジネスおかやまの活動を推進しました。

- ・セミナー・講演会の開催 2 回
- ・福祉用具ワークショップの開催 中止（新型コロナウイルス関連）
- ・マッチングプラザ 2019 出展支援 10 社

(4) 自動車関連企業クラスター活動の推進（自主事業）

意欲ある県内自動車関連企業 81 社が自動車産業の新たな技術動向に関する最新情報を共有し、技術力や生産性の向上、人材育成、取引拡大等を主体的に取り組むことを目的とした「岡山県自動車関連企業ネットワーク会議」の活動を推進しました。

- ・自動車関連技術の最新動向等の講演会、セミナーの開催 2 回 ※再掲
- ・分科会（経営、人材、開発技術、生産技術、復興）の開催 18 回 ※一部再掲

4 岡山リサーチパークの周知活動

(1) 小中学生（家族）向け一般公開（基金事業・県委託事業）

岡山リサーチパークを中心とした研究活動を一般に公開することで、広く県民に存在を周知するとともに、新技術のすばらしさ、科学技術の重要性の認識を目的に、主に小中学生を対象とした日頃体験できない科学技術の発見・感動の場を提供した。

- ・おもしろ体験でえ〜 1 日間（2,280 人）

(2) 岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業（基金事業・県委託事業）

岡山県内研究者の技術シーズをテクノサポート岡山にて公開することで、県内研究

者と県内企業とのマッチングを進めました。

・岡山リサーチパーク研究・展示発表会の開催

(展示 54 テーマ、プレゼンテーション 12 テーマ、参加 263 人)

5 下請企業の取引あっせん

(1) 取引情報の収集提供 (県補助事業)

県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広く PR し、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努めました。

また、関東、東海、関西、九州地区に広域専門調査員を設置し、自動車関連産業等県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘することで、広域的な受注機会の拡大を図りました。

(2) 国内商談会等の開催

県内外発注企業を招聘し、県内中小企業等との面談を行う広域商談会の開催や、全国規模の見本市への出展、本社・工場が集約している大都市圏へ発注案件に適合する県内中小企業と出向き商談を行う現地商談会等の開催により、新規取引先の開拓支援を行いました。

また、(株)島津製作所等に対して、県内中小企業の優秀な技術や製品を PR する展示商談会を開催しました。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| ① 広域商談会の開催 | 1 回 (県補助事業) |
| ② 中国ブロック合同商談会の開催 (山口) | 1 回 (県補助事業) |
| ③ 大都市圏企業との現地商談会の開催 | 4 回 (県補助事業) |
| ④ 機械要素技術展への出展 (東京) | 1 回 (県補助事業) |
| ⑤ 名古屋機械要素技術展への出展 | 1 回 (県補助事業及び
岡山市委託事業) |
| ⑥ 大企業を対象とした展示商談会の開催 | 1 回 (県補助事業) |
| ⑦ 個別商談会の開催 | 3 回 (県補助事業) |
| ⑧ 岡山ビジネスサポーターズの開催 | 1 回 (県補助事業) |
| ⑨ エアロマート名古屋 2019 への出展 | 1 回 (県委託事業) |
| ⑩ 関西機械要素技術展への出展 | 1 回 (岡山市委託事業) |

(3) 海外における市場開拓の支援 (県補助事業)

県内ものづくり企業の海外での販路開拓を支援しました。特に多くの日系企業が生産拠点として進出している東南アジア地域を中心に、展示会出展支援を行いました。

- ・海外展示会への出展 2回（タイ、インドネシア）

（４）広域専門調査員の設置（県補助事業）

県外企業を訪問し、自動車関連産業等に係る県内の受注ニーズに見合った発注案件を発掘するとともに、現地商談会等の調整などを行うため、関東、東海、関西、九州の各地区に１名の調査員を設置しました。

- ・関東地区担当 1人（活動日数：141日、訪問：128社）
- ・東海地区担当 1人（活動日数：138日、訪問：153社）
- ・関西地区担当 1人（活動日数：143日、訪問：206社）
- ・九州地区担当 1人（活動日数：141日、訪問：193社）

（５）岡山県自立化推進研究会等の活動支援（自主事業）

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」（４グループ 83社）及び異業種交流・共同受注グループ（３グループ 53社）の活動を支援しました。

- ① ‘90 岡山県自立化推進研究会 例会 6回
- ② ‘92 岡山県自立化推進研究会 例会 6回
- ③ ‘94 岡山県自立化推進研究会 例会 6回
- ④ ウイング岡山 21 例会 5回
- ⑤ トラストネット未来 例会 3回
- ⑥ ウイングウィン岡山 例会 5回
- ⑦ メディカルネット岡山 例会 4回

6 ミクロものづくり岡山ブランドの形成促進（県委託事業）

「ミクロものづくり岡山」のブランド形成を加速させるとともに企業の競争力強化を図るため、展示会出展や「ミクロものづくり岡山作品コンテスト」で優秀賞を受賞した企業のPR冊子（フリーペーパー）を作成し、先端技術を有する県内企業を国内外にPRしました。

- ・名古屋機械要素技術展への出展 ※再掲 1回
- ・ミクロものづくり岡山作品コンテスト受賞企業のPR冊子（フリーペーパー）の作成

・アンケート調査事業

7 おかやまテクノロジー展開催事業（県委託事業）

県内ものづくり企業が一層の販路拡大に取り組むため、「ものづくり県おかやま」として県下全域の優れた精密加工技術力及び技術開発力を有する企業を一堂に集め、県内外のメーカー等に向けてPRしました。

・おかやまテクノロジー展 (OTEX) 2020 の開催

219 社・機関出展

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間4回（5月・8月・11月・2月）、対象企業750社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成しました。

9 航空機関連産業受注獲得支援事業（県補助事業）

一貫生産の進む航空機業界において体制構築の可能性を探りながら、本県産業のポテンシャルの高さをアピールすることにより、西日本における航空機産業拠点の構築を目指すことを目的とし、展示会への出展支援を行いました。

・エアロマート名古屋 2019 への出展 ※再掲

10 販路開拓・拡大支援（県補助事業）

県内企業と岡山県にゆかりのある首都圏在住の企業経営者（岡山ビジネスサポーターズ）、ディーラー、バイヤー等とのネットワークを構築し、販路開拓に関する助言により販路支援を行いました。

・岡山ビジネスサポーターズ・ミーティングの開催

1 回（延べ 64 人）※再掲

※令和元年度下請企業の取引あっせん実績

・展示会・商談会	17 回（内、海外 2 回）
・あっせん件数	4,379 件
・成約件数	427 件
・当初成約金額（3 カ月ベース）	1,251,469 千円

11 知的財産を活用したものづくりの推進

（1）知財総合支援窓口の設置（国請負事業）

中小企業等が抱える知的財産に関する課題の解決を支援するため、一般社団法人岡

山県発明協会と連携して「岡山県知財総合支援窓口」を設置しました。

窓口に5人の窓口支援担当者を配置し、必要により弁理士等知財専門家と連携しつつ、窓口または現地にて課題解決を支援しました。

・窓口支援担当者が対応した相談案件数	2,545 件
知財専門家と連携した支援	294 件
〔内、知財専門家（弁理士等）の窓口支援	111 件〕
〔内、知財専門家の派遣等	182 件〕
〔内、その他専門家の派遣等	1 件〕
・電子出願端末利用件数	136 件

（内、特許願 25 件、実用新案登録願 4 件、意匠登録願 6 件、商標登録願 15 件、その他 86 件）

（2）外国出願に関する支援

中小企業者等の海外展開支援の一環として、知的財産を外国出願する際の経費を補助しました。

・特許	5 件
・商標	11 件
・補助金額	6,912 千円

VI 国等のプロジェクト支援（プロジェクト推進部事業）

岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点及び岡山県エキスパート人材支援センターは、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による「攻めの経営」やエキスパート人材の活用による「生産性の向上」を支援しました。

岡山県よろず支援拠点は、県内中小企業の経営基盤の強化に向け、他の支援機関と連携しながら、創業、販路拡大、経営革新、ICTの活用等の支援に取り組みました。

また、岡山県中小企業再生支援協議会、岡山県経営改善支援センター及び岡山県事業引継ぎ支援センターの活動を通じ、企業再生、経営改善及び事業引継ぎの促進に努めました。

1 プロフェッショナル人材のマッチング支援（県委託事業）

成長戦略の具現化に必要な人材の確保に悩む県内中堅・中小企業に対し、都市部の大手企業等で豊富な経験を有するプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行い、新事業の展開や新技術の開発など県内企業の経営革新を図りました。

また、地域で高まるプロフェッショナル人材ニーズに対応するため、都市部大企業等と連携した人材交流を推進しました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	24 社
・相談件数	569 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ	116 社（207 人）
マッチング成立	45 人
・大企業への人材ニーズの取次ぎ	35 人
大企業との人材交流の成約	1 人

2 エキスパート人材のマッチング支援（県委託事業）

県内中堅・中小企業の生産性向上や製品・サービスの高付加価値化を図ることを目的に、岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点、民間人材ビジネス事業者、産業支援機構及び金融機関と連携し、県内企業とエキスパート人材とのマッチング支援を行いました。

・民間人材ビジネス事業者の登録	24 社
・相談件数	141 件
・民間ビジネス事業者への取次ぎ	54 社（122 人）
マッチング成立	22 人

3 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）

売上拡大、生産性向上等の経営相談に応じ、中小企業・小規模事業者の課題を分析し、一定の解決策を提示するとともに、フォローアップを実施しました。

相談者の利便性向上のために、岡山サテライトオフィス、倉敷サテライトオフィス及び津山サテライトオフィスを設置するとともに、「出前よろず支援拠点」として、商工会、商工会議所、市町村及び金融機関と連携して定期的に出張相談を実施しました。特に、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興を支援するため、真備船穂商工会等へコーディネーターを派遣し、災害に関する特別相談を行いました。

また、「売上アップ」、「販売促進」、「IT活用」等のテーマ別に2名～3名の少人数制のミニセミナーや、経営知識習得や相談者同士の交流によるビジネスマッチングを促す「よろずCafé」を開催しました。

・相談対応件数	22,630件
・来訪相談者数	11,092人
・課題解決件数	996件
・出前よろず支援拠点の開催	483回
・平成30年7月豪雨災害に関する特別相談対応件数	659件
・ミニセミナーの開催	37回
・よろずCaféの開催	11回

4 中小企業等の再生支援

(1) 中小企業再生支援協議会による再生支援（国委託事業）

企業の再生や再建に豊富な知識と経験を有するマネージャーによる窓口相談を行うとともに、外部専門家と協力し、再生計画の策定支援を行いました。

・再生計画策定支援	15件
・抜本案件	5件
・経営者保証に関するガイドライン利用	7件
・フォローアップ件数	53件

(2) 経営改善支援センターによる経営改善支援（民間委託事業）

中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関が実施する経営改善計画策定支援の費用の一部を負担し、中小企業・小規模企業者の経営改善、事業再生を支援しま

した。

・ 経営改善支援 相談件数	97 件
・ 経営改善支援 利用申請件数	56 件
・ 早期経営改善支援 相談件数	55 件
・ 早期経営改善支援 利用申請件数	80 件

(3) 事業引継ぎ支援センターによる事業承継支援（国委託事業）

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える県内中小企業や、これら経営資源を引き継ぐ意志のある県内中小企業の相談に対応するため、事業譲渡や承継等に関する助言、情報提供及びマッチング支援を行いました。

・ 相談対応件数	224 件
・ 成約件数	26 件

VII 産業人材の育成と情報化支援等（総務部事業）

財団の運営及び利用促進のための各種施策を企画推進しました。また、中小企業の階層及び分野別の様々な研修、IT 分野、ISO9001、新入社員合同入社式等に関する研修を企画・開催し、産業人材の育成を支援しました。加えて、財団が実施している各種支援策の PR や県内中小企業の情報などを掲載した情報誌の発行、インターネット上での「産業支援ネットワーク」の運営などを通じて有用な情報の発信を行いました。

1 産業人材の育成

（1）研究開発に必要な人材育成（県委託事業）

自動車産業をはじめとした県内製造業における設計・開発力の強化を図るとともに、電気・電子関連や精密測定等の知識の習得により技術力を強化するため、実証講義を開催し、県内企業の人材育成を図りました。

・実証講義	19 コース (201 人)
	役立度 4.30/5.00

（2）生産現場の改善支援（県委託事業）

ものづくり中小企業の生産現場に、合理性を追求したトヨタ生産方式の指導者を派遣し、生産性の向上やコスト削減の助言を行いました。

・現場改善研修の開催	4 社
------------	-----

（3）ものづくり系企業の人材育成（県委託事業）

中小企業の経営者から若手社員までを対象に、階層別研修のほか経営管理・労務・営業・生産・技術など分野別研修を通して、生産性向上を目指し経営基盤の強化を支援しました。

・産業人材の育成・確保事業の開催	29 コース (530 人)
	役立度 4.72/5.00

（4）サービス産業の人材育成（県委託事業）

サービス産業は、現場で「人」が付加価値を提供する。労働力不足による厳しい事業環境の中、定着につながる研修を充実。また、従業員の質を高めるため、スキルア

ップ研修を実施しました。

- ・ビジネス人材や女性のスキルアップ研修 22 コース (499 人)
役立度 4.78/5.00

(5) 新入社員の育成 (自主事業)

中小企業に採用された新入社員を対象に、社会人としての心構えやルールを身につけるための、合同研修を行いました。

- ・新入社員合同研修、合同入社式の開催 1 回 (27 社・63 人)

(6) ISO 内部監査員の養成支援 (自主事業)

ISO9001 を取得している、もしくはこれから取得を目指す内部監査担当者を対象にしたセミナーを行い、企業のマネジメントシステムの構築維持を支援しました。

また新担当者が参加しやすい入門コースの研修も実施しました。

- ・ISO9001 研修 (入門コース) 1 回 (21 人)
- ・ISO9001 研修 (内部監査員養成コース) 1 回 (33 人)

2 グローバル人材の育成・確保

(1) 日本人留学生の人材育成支援 (県委託事業、民間委託事業)

県内の大学に在籍し、自身の課題をチャレンジ精神と行動力で遂行し、留学先での交流や様々な実践活動を行う日本人留学生に奨学金を交付するとともに、県内企業へのインターンシップを通じて、地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、グローバル化を進める県内企業への就職に繋がりました。

- ・日本人留学生への奨学金の支給 4 人
- ・県内企業へのインターンシップ支援 4 人 (4 社)

(2) アジア人留学生を活用した海外展開支援 (自主事業)

県内の大学に在籍しているアジアからの留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援しました。

具体的には、県内中小企業者へのインターンシップ、就職マッチング、奨学金の給付等を行い、総合的な支援を行いました。

- ・アジア人留学生への奨学金の支給 (36 万円/人) 16 人 (うち冠企業分 6 人)

- ・ インターンシップ情報の収集・提供 企業 55 社・留学生 67 人
 - ・ 県内中小企業等とアジア人留学生との就職マッチング 企業 73 社・留学生 73 人
- ※新型コロナウイルス感染症のため中止

(3) 留学生の県内企業への就職促進、確保支援（県委託事業）

留学生向けのセミナーや企業交流会を開催し、留学生の県内就職促進に向け、留学生の就職支援や県内企業とのマッチング支援を行いました。

また、企業向けセミナーも開催し、受入に必要な法的手続きや雇用管理の留意点など留学生を受け入れるための支援を行いました。

- ・ 留学生向けセミナー 2 回（119 人）
- ・ 企業向けセミナー 2 回（324 人）

3 おかやま産業情報の発行等（自主事業）

財団活動の広報を行うとともに経営の一助としてもらうため、県内企業に対し、財団の実施事業や各種施策等について情報提供する「おかやま産業情報」を発行しました。

- ・ おかやま産業情報の発行 年 6 回発行（毎回 4,000 部 4 月のみ 4,500 部）

4 中小企業の情報化支援

(1) 中小企業の IT 支援（基金事業）

IoT や AI といった分野をはじめ、急速に普及している IT 化の中、中小企業に対して、IT に対する理解を深め、IT を利用した業務効率化を促す講習会を開催した。

中小企業の課題とされている IT 人材の育成や中小企業者からの情報化に関する各種相談に注力しました。

- ・ IT 講習会の開催 8 コース（125 人）

(2) 岡山県産業支援ネットワークの運営（県補助事業）

県内中小企業者の IT 対応を促進するために、情報ハイウェイを活用した岡山産業情報の発信拠点（ポータルサイト）を整備・運営し、県内企業情報等のデータベースの構築を図るとともに、有益なイベント情報、各種支援施策等をメールマガジンにより発信しました。

また、ITの最新動向や、有用な事例を紹介するセミナー等を開催しました。

- ・ 情報セキュリティセミナーの開催 1回(90人)
- ・ メールマガジンの発行 48回

5 テクノサポート岡山の施設管理・運営(県委託事業・県指定管理事業)

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行いました。

- ・ 会議室利用件数 1,036件
- ・ 技術情報ライブラリー利用者数 2,696人